

(第3種郵便物認可)

「トヨタ」の風

大橋鉄工秋田との連携

秋田自動車道の横手インタ―チェンジ(IC)近くの横手第2工業団地(横手市柳田)に2017年2月、トヨタグループに自動車部品を供給する大橋鉄工秋田の工場が稼働した。大手との太いパイプを持つ企業の進出が、県内企業が商機をつかむきっかけになろうとしている。

共同製造

増えているといい、同社は「今後も部品の需要は高まるだろう。着実に対応していきたい」と語る。19年度の売上高は約9億6千万円を見込んでい

る。来年はトヨタ自動車東日本向けに新たに3種類の部品を、トヨタ自動車東日本(大仙市)の県内3社と共同で行う。フードサポートとガイドパイプの製造は、金属表面処理加工の秋田化学工業(にかほ市)と太田化成工業(秋田市)、プレス加工の東京端一(大仙市)の県内3社と共同で行う。

部品、県内で完成品に

大橋鉄工秋田は、トヨタグループ1次サプライヤーの大橋鉄工(愛知県北名古屋市)が15年11月に設立。災害時などの事業リスク分散、製品の増産対応、地方での人材確保の三つを目的に、県の誘致企業として横手市に進出した。

中国などアジア地域で自動車用ルーム内で支える「ガイド」の生産を始める。

生産する計画だ。

大橋鉄工は、横手市に会社をつくることが決まっただけで、県内企業と共同で部品を製造する計画を持っていた。

大橋鉄工は、横手市に会社をつくることが決まっただけで、県内企業と共同で部品を製造する計画を持っていた。

稼働以来、製造してきたの変速機を搭載する車の生産が

同社は「今後とも共にものづくりに取り組める企業を増やしていきたい。この地域と東北

の自動車産業の発展のために『メイドイン秋田』を進めていく」と力を込める。操業開始時に10人だった従業員は38人に増加。全員が本職のスクラムに参加する企業を増やし、競争力を強化していくことが重要になる。



オートマ車の変速機の部品を製造する大橋鉄工秋田。来年から新たに3種類の部品をトヨタ東日本に供給する

県輸送機産業振興室は「トヨタグループとダイレクトにつながる企業が現れたことにより、企業同士が連携